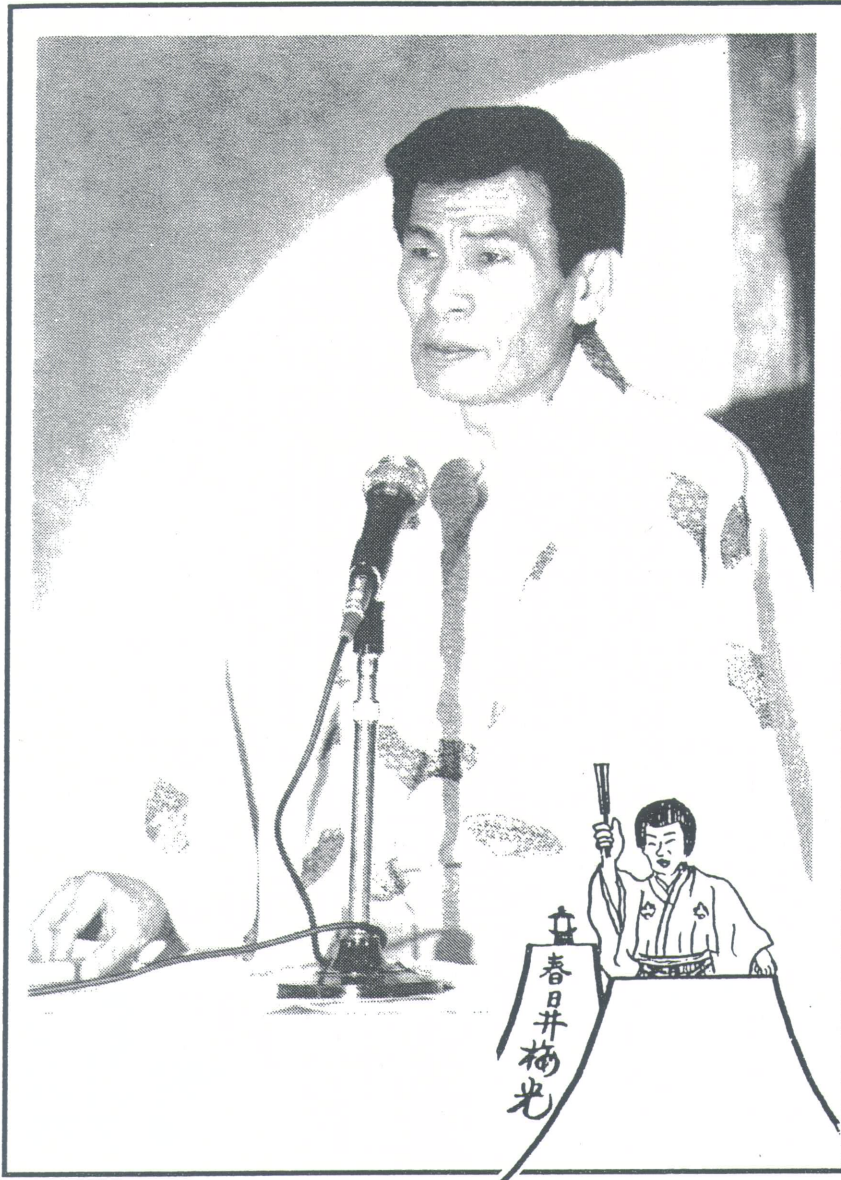


芸豪烈伝その4

かすがい・ばいこう
春日井梅光

浪曲人生三十年を支えた人は……

写真・森 幸一 文・おさだ衛 イラスト・春日井梅光



遅咲きの「梅」が花開き「光」を放ちはじめた。梅光だ。素質や声の良さが高く買われながらも雌伏していた眠れる獅子が踊りはじめた。「越後獅子祭り」だ。これからは前進あるのみ。梅光師に決意のほどを聞いてみよう。

かすがい・ばいこう 本名は西崎静雄。50歳。子供のころから浪曲が好きで17歳で上京、先代の春日井梅鶯に師事。歌手として『華盃』『輪島の子守唄』などのヒット曲がある。三道楽は「酒はナメる程度、勝負事はしない。タバコはすわない。女はおしゃべりだけ」。一男一女の父。

夢でもいいから持ちたいものは…… 6

梅光が芸術祭賞を受賞した（この名誉で故郷の石川県富来町から特別功労賞も受賞している）。昨年10月、木馬亭での平成六年度文化庁芸術祭参加公演「名調子への挑戦」への評価で、梅光の芸は一流で本物とお墨付きを国からもらった、といつてよい。

「おおよけの賞としては初めてです。30年間、浪曲をコツコツとやってきておそまきながら報われました」

芸術祭参加は昨年だけでなく一昨年も行ない、その積極さに驚いた浪曲ファンも多いはずだ。なにせ東京の浪曲界を担うのは、いちに二代目・東家浦太郎を襲名する太田英夫、二にドスを利かせた大声の玉川福太郎、忘れちゃいけない芸の求道者・澤孝子、ぐっと年齢が下がってロック浪曲の国本武春という無言の序列が、なんとなくながら確固として決まっていたからだ。

今回の受賞で梅光は東京の浪曲界に風穴を開けたわけで、三門柳、春日井梅香、天津ひずるなどの中堅には大きな刺激になったはずだ。

「ぼくは優柔不断で引っ込み思案でしてね。芸術祭参加も周囲の強いススメがあったからで。このままでは上に行けないぞ、とか、現状の壁をブチこわさないと将来はないぞと言われて、重い腰をあげたわけで」



「自分に厳しく、自分が犠牲になっても大切なものを守りたい。浪曲では、素質がない人間でも成功することを身をもって実証したい」

今後は浪曲界を背負って立つ気概で高座に臨むんですね。
「いや、まあ、責任は重大ですが体調に気をつけて、高座でミスをしたくないように。まあ、すこしずつ着実に」と
なにか、いまひとつ梅光師の応答が弱気ではつきりしないなあ、と思っただ。が、芸術祭受賞賞↓芸豪↓度胸と腕つぶし↓大言壮語で高笑い、独り合点していた私が悪かった。梅光師は自然体で力まず、おだやかに自分の言葉で答えていたのだ。
「ぼくは義侠心はあるが強いものには弱いタイプで、ハハハ。記憶力がよくなくて忘れやすいからネタは少ないし、気持ち焦っても身体がついていかないんですよ」
なるほど。誠実で内省的でハツタリ

をかまさない、芸人らしからぬ？ 始めて几帳面なひとなんだ。
「人情に訴えるような梅光節を定着させて仕上げたい。ネタを増やして毎年独演会を開きたいですね」
芸術祭受賞を記念して2月19日(日)の昼12時から、木馬亭で浪曲大会が行なわれる。『隣の母』を演じるメインの梅光師ほかに、春日井梅鶯、東家三楽、孝子、福太郎が花を添える。
なお、当日の午後5時から浅草ROX 6階ふじの間にて記念祝賀会が催される。会費は1万円でだれでも参加できる(詳細はP参照)。
この取材で梅光師にお話を聞いていた場に、梅光師の奥さんが同席した。奥さんが梅光師に、あのことも言わなくちゃ、というサインを出した。
「そうそう、大事なことを忘れてました、荣誉ある賞をいただいたのも曲師の加藤歌恵師匠のおかげです。リードしてもらい間を覚えてもらい鍛えてもいい、感謝の言葉もありません」
奥さんに思い出させてもらって、よかったですね。
「女房と一緒に26年です。ケンカばかりですよ。ケンカの種は金ですね。芸人はサラリーマンと違って毎月きまったものが入ってこない。食わなくても石にかじりついて芸を磨きたいとぼくが考えても、女房は生活があるから納得できない」
その奥さんとは6年間の文通交際を

「若手の弟子が増えていく。われわれは若い人の行動を見て時代の流れをつかまえないと、浪曲がスミッコに追いやられますよな」
経て結ばれた。
「ぼくの趣味は手紙書きでして、当時は、文通相手の女性は女房以外に20人は、いましたかね、へへ。6年間で二人で五百通くらいの手紙は出し合いましたか。
女房は落語の『芝浜』の、あの女房です。亭主のケツを叩いたり、押したり引いたり、コンチクショーと思う時もあります、ありがたい限りです」
お金は芸の上達に従いついてくる。
この文章の冒頭の、夢でもいいから持たたいものは、の次の文句は金のなる木といい女房、とくる(落語にあるフレーズです)。
芸イコール金のなる木と、素晴らしい奥さんを持つ梅光師は今年、最も活躍が期待されるニューヒーローだ。ここまで来たら、もう後には引けない。

浪曲... これほどすばらしい芸は他にはないと思います。
浪曲家の皆さん... 頑張ってください。
多くのファンを楽しませて下さい。
4/52
葛飾区・坂本豊吉